

水酸化カリウム産業の現状について

1. 水酸化カリウムとは

(1) 水酸化カリウムの特性及び製造工程

- ・ 無色無臭の液体品又は無臭で白色片状の固形品。
- ・ 製造方法は、原料の塩化カリウムを電気分解する。

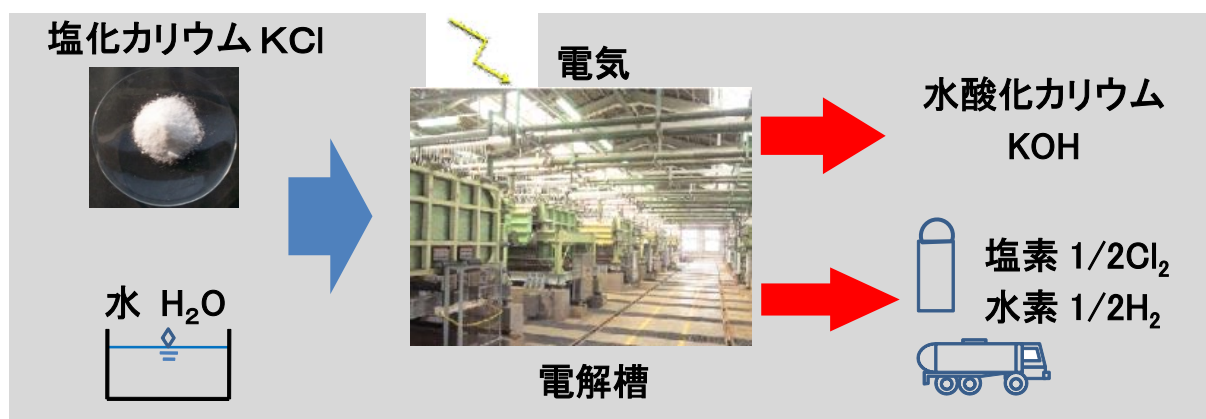
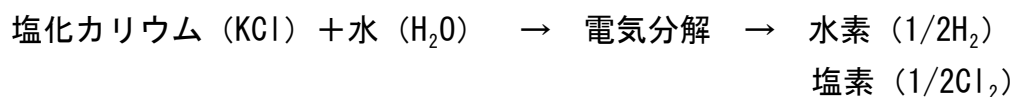


固形品



液体品

水酸化カリウム (KOH)



(2) 水酸化カリウムの主な用途

- ・ 炭酸カリウム等のカリ塩類の原料
- ・ 液体石鹼や洗剤の原料
- ・ 化学肥料の原料
- ・ アルカリ電池の電解液
- ・ 写真の現像液

2. 水酸化カリウムの国内製造事業者について

国内の水酸化カリウムの製造事業者は、以下の4社である。(カッコ内は工場所在地)

- ① 旭硝子株式会社 (千葉県)
- ② ダイソー株式会社 (現 株式会社大阪ソーダ) (愛媛県)

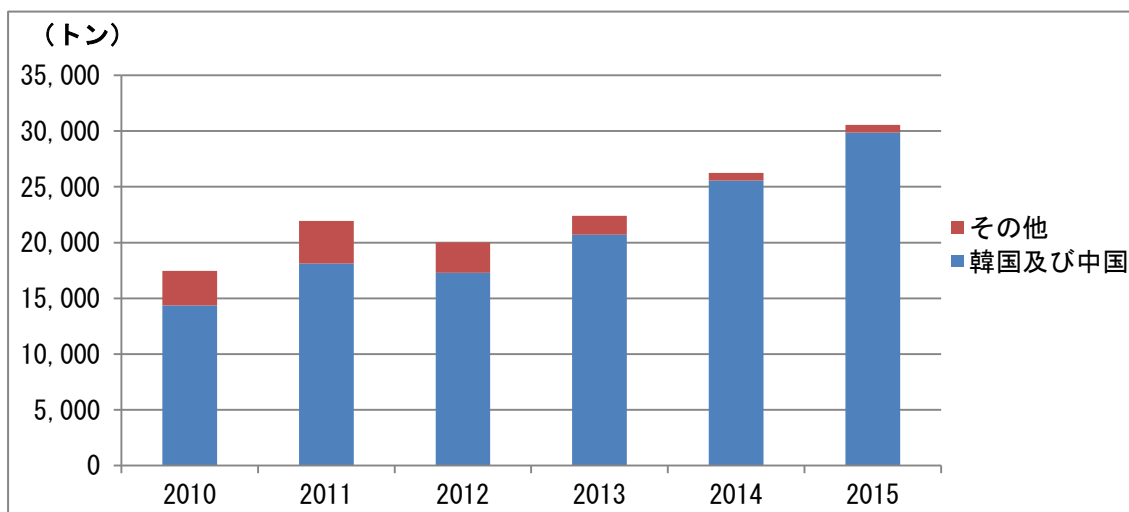
※ダイソー株式会社は平成27年10月1日、「株式会社大阪ソーダ」へと社名変更。

③ 東亜合成株式会社（愛知県）

④ 日本曹達株式会社（新潟県）

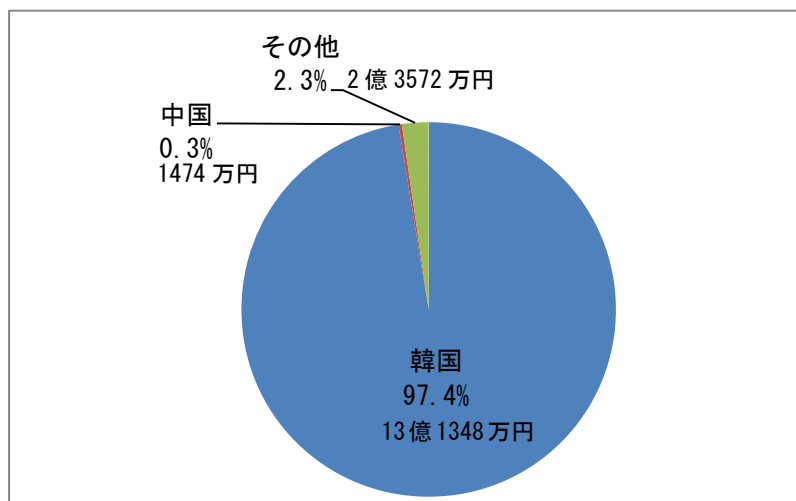
3. 水酸化カリウムの輸入

（1）水酸化カリウムの輸入量の推移（出典：財務省貿易統計）（単位：トン）



（2）輸入量の国別割合及び輸入額（出典：財務省貿易統計）（2015年）

輸入量は韓国が9割以上を占める。



4. まとめ

- ① 水酸化カリウムは、炭酸カリウム等のカリ塩類の原料、液体石鹼や洗剤の原料、化学肥料の原料、アルカリ電池の電解液等、幅広い用途に利用されている。
- ② アンチ・ダンピング（不当廉売関税）は、ルールに違反する貿易に対抗するため、各加盟国にWTO協定上認められた措置である。ルール違反を速やかに是正し、公正な市場競争環境を確保することは、極めて重要である。

以上